

2025 年度 秋山裕研究会 入ゼミ選考における筆記試験の出題について

筆記試験の各科目（マクロ経済学、ミクロ経済学、統計学、英語）の出題範囲（英語は難易度）は以下の通りです。（2科目選択していただき、出題例のような問題が各科目 10 題出題されます。昨年度からの変更はありません。）

マクロ経済学で出題される範囲

国内総生産（名目、実質、デフレーター）

国民経済計算（三面等価）

乗数分析

消費関数・貯蓄関数（ケインズ型消費関数 恒常所得仮説）

投資関数（投資の限界効率 現在割引価値）

貨幣需要、貨幣供給、貨幣数量説

IS-LM 分析（財政政策 金融政策 流動性のわな）、AD-AS 分析

<出題例>

1. マクロ経済変数間の関係として、誤っているものはどれですか。

- (1) 国内総生産＋輸出＝消費＋投資＋政府支出＋輸入
- (2) 国民総所得＝国内総生産＋海外からの所得の純受取
- (3) 民間貯蓄－民間投資＝（政府支出－租税）＋（輸出－輸入）
- (4) 国内総支出＝民間最終消費支出＋政府最終消費支出＋国内総資本形成＋在庫品増加＋純輸出
- (5) 国内総生産＝雇用者報酬＋営業余剰＋固定資本減耗＋間接税－補助金

2. 投資（政府＋民間） I と輸出 X が外生的で、消費関数が $C = 0.6Y + 100$ 、輸入関数が $M = 0.1Y$ （ただし Y は実質 GDP）のマクロ・モデルを考えます。投資 I が 1 兆円増加したとき、実質 GDP はいくら増加しますか。

- (1) 0.5 兆円
- (2) 1 兆円
- (3) 1.2 兆円
- (4) 1.5 兆円
- (5) 2 兆円

3. 標準的な IS-LM 分析の枠組みにおいて、正しいものはどれでしょうか。

- (1) 金融緩和政策により、GDP は増加し、利子率は上昇する
- (2) 金融引締め政策により、GDP は減少し、利子率は低下する
- (3) 国債の市中消化による財政拡大政策により、GDP は増加し、利子率は上昇する
- (4) 国債の中央銀行引き受けによる財政拡大政策により、GDP は増加し、利子率は低下する
- (5) 限界消費性向が上昇したとき、投資は増加する

ミクロ経済学で出題される範囲

消費者と需要（効用、最適消費、代替財・補完財、上級財・下級財）

企業と生産関数（限界生産力、代替の弾力性）・費用関数（長期・短期、総費用、限界費用）

市場と需要・供給（完全競争市場、独占市場）

ゲーム理論

<出題例>

11. ある消費者は、すべての所得を X 財、Y 財、Z 財の 3 種類の財に支出しています。この消費者にとって、X 財と Y 財は代替関係にありますが、Y 財と Z 財は補完関係にあります。また、X 財は下級財ですが、Y 財と Z 財は正常財です。いま、他の条件を一定として Z 財の価格が低下した場合、これが各財に及ぼす代替効果、所得効果の正負に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれですか。

- (1) X 財に対する効果： 代替効果= (+)、所得効果= (+)
- (2) Y 財に対する効果： 代替効果= (-)、所得効果= (-)
- (3) Y 財に対する効果： 代替効果= (-)、所得効果= (+)
- (4) Z 財に対する効果： 代替効果= (+)、所得効果= (+)
- (5) Z 財に対する効果： 代替効果= (-)、所得効果= (+)

2. 生産関数が、

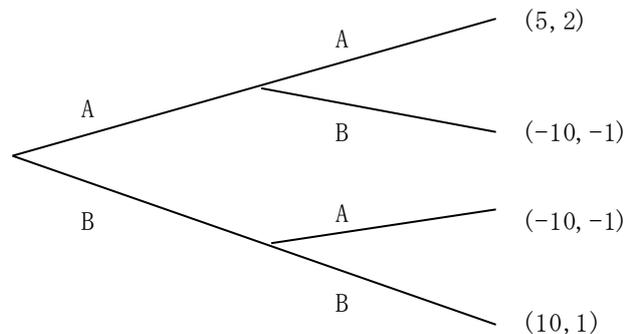
$$y = 10x_1^{1/3}x_2^{1/3}$$

である企業が利潤最大化をしているとします。財 y の価格 p が 3、生産要素 x_1 の価格 w_1 が 2、生産要素 x_2 の価格 w_2 が 5 であるとき、この企業の利潤 $\pi = py - w_1x_1 - w_2x_2$ として 正しいものはどれですか。

- (1) 100 (2) 200 (3) 300 (4) 400 (5) 500

3. コンビニエンス・ストア(加盟店) は、フランチャイズ本部(企業本部)から商品を仕入れて顧客に販売しています。両者は販売データなどをコンピュータで処理していますが、そのデータの管理に A 形式と B 形式のいずれかを選択できます。企業本部がいずれかのデータ管理形式を選択した後に、加盟店が選択するとします。この状況は次の図で表され、両者は互いに利得(左が企業本部の利得、右が加盟店の利得)についてのすべての情報を知っているものとします。この場合、ゲームの均衡として 正しいものはどれになりますか。

- (1) 企業本部も加盟店も形式 A を選択する。
- (2) 企業本部は方式 A を、加盟店は形式 B を選択する。
- (3) 企業本部は方式 B を、加盟店は形式 A を選択する。
- (4) 企業本部も加盟店も形式 B を選択する。
- (5) 選択は決定できない。



統計学で出題される範囲

平均、標準偏差、
 正規分布、t分布、
 信頼区間の推定、仮説検定、
 相関分析（共分散、相関係数）
 回帰分析（最小2乗法、推定と検定）
 二項分布

<出題例>

1. 以下は無作為に抽出した大きさ3の標本データから計算した値です。標準偏差として適切なものはどれでしょうか。 $\Sigma X_i = 12$ 、 $\Sigma X_i^2 = 50$
- (1) 0.5 (2) 0.667 (3) 1 (4) 1.414 (5) 5

2. 無作為に10個標本抽出した結果、平均は4、標準偏差も4でした。この母集団の平均の90%

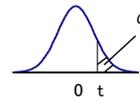
$$\text{信頼区間 } P\left(\bar{X} - t \frac{s}{\sqrt{n}} \leq \mu \leq \bar{X} + t \frac{s}{\sqrt{n}}\right) = 0.9$$

はいくつになりますか。

<表2>を利用して適切なものを選んでください。

- (1) 1.1818~6.8182
 (2) 1.6814~6.3186
 (3) 1.7080~6.2920
 (4) 2.2329~5.7671
 (5) 2.2645~5.7355

<表2>
t分布表



d. f.	α					
	.25	.10	.05	.025	.01	.005
1	1.000	3.078	6.314	12.706	31.821	63.657
2	.816	1.886	2.920	4.303	6.965	9.925
3	.765	1.638	2.353	3.182	4.541	5.841
4	.741	1.533	2.132	2.776	3.747	4.604
5	.727	1.476	2.015	2.571	3.365	4.032
6	.718	1.440	1.943	2.447	3.143	3.707
7	.711	1.415	1.895	2.365	2.998	3.499
8	.706	1.397	1.860	2.306	2.896	3.355
9	.703	1.383	1.833	2.262	2.821	3.250
10	.700	1.372	1.812	2.228	2.764	3.169
11	.697	1.363	1.796	2.201	2.718	3.106
12	.695	1.356	1.782	2.179	2.681	3.055
13	.694	1.350	1.771	2.160	2.650	3.012
14	.692	1.345	1.761	2.145	2.624	2.977
15	.691	1.341	1.753	2.131	2.602	2.947
∞	.674	1.282	1.645	1.960	2.326	2.576

3. 次の回帰分析の推定結果から、 $Y = \alpha + \beta X + u$ の β の有意性 ($\beta \neq 0$) 検定について正しいのはどれでしょうか。<表2>を利用して適切なものを選んでください。ただし、 $s_{\hat{\beta}} = \frac{s}{\sqrt{\Sigma(X_i - \bar{X})^2}}$ $t = \frac{\hat{\beta} - \beta}{s_{\hat{\beta}}} \sim t(n-2)$ 。

$$\hat{Y} = 1.345 + 0.617 X$$

(0.328) (0.284)

ただし、()内は標準誤差、標本数： $n=15$ 。

- (1) 有意水準20%では有意だが、有意水準10%では有意でない。
 (2) 有意水準10%では有意だが、有意水準5%では有意でない。
 (3) 有意水準5%では有意だが、有意水準2%では有意でない。
 (4) 有意水準2%では有意だが、有意水準1%では有意でない。
 (5) 有意水準1%で有意である。

英語で出題される問題の難易度

TOEFL Reading と同等の難易度

<出題例>

以下の文章を読んで答えてください。

[1] laissez-faire was influential in the development of economic systems of the past 300 years. It grew into our current free-market economy with the freedom of individuals and businesses to allocate economic resources according to their needs and wants. This is in contrast to the command economy, which usually has a central authority.

(中略)

[5] Opposition to laissez-faire economics first began in the mid-19th century. Some industries turned to the government for help on numerous occasions. For example, companies facing string competition from abroad appealed for protection through trade policies. American agriculture, almost totally in private hands, benefited from government assistance. Around the turn of the century, governments in all industrialized countries were forced to abandon laissez-faire and establish at least some degree of control over businesses on behalf of workers and the general population. The laissez-faire period ended by the beginning of the 20th century, when large monopolies in the U.S. were broken up. Government regulation of businesses became the norm. From the 1970s, however, the pendulum swung back to laissez-faire, now renamed “free enterprise,” and brought the deregulation of businesses to the U.S., and a progressive removal of trade barriers.

1. It can be inferred from paragraph [1] that

- (1) the current free-market economy bases its ideas on laissez-faire
- (2) the command economy is beneficial for individuals when the central government has authority
- (3) the freedom of individuals and business depends on the development of laissez-faire
- (4) individuals' needs and wants are equally allocated under the system of laissez-faire
- (5) the free-market economy has developed through modifications of laissez-faire

2. According to paragraph [5], what happened when opposition to laissez-faire economics began in the mid-19th century?

- (1) American agriculture became a private enterprise.
- (2) Competitive companies were protected by the government's trade policies.
- (3) Some businesses were forced to abandon laissez-faire.
- (4) Some businesses asked the government for help.
- (5) Large monopolies in the U.S. were broken up.

3. Which of the following can be implied from the passage?

- (1) Without a good government, the country will not thrive.
- (2) Laissez-faire economy leads to a fair distribution of wealth among a country's people.
- (3) Some degree of government's intervention is necessary even in free market economy.
- (4) Laissez-faire policy works best when the economy is in the hands of big business.
- (5) Laissez-faire and free trade policy has been very popular with workers in small businesses.